

相馬市立桜丘小学校訪問記

2013年7月2日

NPOブルーアース 持田典秋

§はじめに

NPOブルーアースが誕生して今年で10年を迎える。その記念行事として、被災地における理科教室を開こうということとなった。

まず動いたのは中村泰三で、相模原市と姉妹都市である大船渡市に、公民館のツテで接触したが、先方があまり乗り気ではなく流れてしまった。平野は、釜石市にいる親戚の中学校の先生経由で当たったが、上手く行かなかった。瀧本は、赤羽文化センターの担当者の故郷であるいわき市の友人と連絡してもらったが、先方の人手不足で無理とわかった。

そのような時、福島県庁の知人からの情報で、福島県の市町村の教育委員会の連絡先を知らせてもらい、個々にコンタクトした。そのうちの相馬市教育委員会から反応がありその紹介で相馬市立桜丘小学校で実施が決まった。最初は科学クラブ25名が対象ということであったが、担当の青田雅子教諭と電話で話すうちに、このようなチャンスは子供たちにはないからと4~6年生それぞれ約80名全員に実施を希望され、どうせ行くついでなのでそれを受け入れることとなった。

§準備

実施は6月25日、26日の2日間と決まった。相馬市に出かけて行つての打ち合わせは、時間的・金銭的に難しいため、テーマは我々が幾度か手がけていて慣れているものを選び、電話とメールのやり取りで基本線を固め、後はぶつつけ本番ということになった。急に決まったため、NPO内部で直接会って打ち合わせは持つだけの時間はない。しかし、いつもの通りのことなので特に不安はなかった。学校で準備して貰うもののリストを送り、NPOで準備すべき材料は、各担当講師が調達して揃え、必要な加工をして宅急便で送った。

§6月25日

この日、朝から参加するのは、国友、中村修三、持田。東京発8:40のやまびこ53号。約1時間半で福島着。福島駅からは常磐線が途切れているため、直通の高速バスで1時間半。ちょうど12:00に相馬市に到着した。

直ちに学校へ。徒歩約10分ほど。校長室で寺岡弘之校長、太田耕司教頭、青田雅子教諭と挨拶を交わす。部屋にはブータン国王が訪れた時の写真や記念品が飾られていた。国王が訪れたのはまさにこの学校で、私達は誰ひとりそのことに気づいていなかった。図工室に移動し、午後の授業の準備に入る。

午後5、6校時は5年生の授業で講師は国友担当。テーマは「虹を作ろう」約80名3組を2グループ約40名ずつに分け、45分の授業を2回。



型紙から分光器を作るとき、切るべきところが切ってなかったり、残すべきところが切られていたりのハプニングはあったが、2組とも全員無事完成させ、太陽光と蛍光灯の光の違いを確認した。子供たちは熱心に話を聞き、物作りをし、観察をしていた。

学校側は1組半ずつの授業だったの

で、授業を受けていない子供たちの扱いにかなり苦労されたと思う。

終了後、校長室で学校のことをいろいろ伺った。海から遠いため津波の被害は免れたが、地震で体育館が潰れ、建設中だが復興工事のため業者が不足して遅れていること、またブータン国王が訪れた時の話など。子供たちは直接ここでは被害を受けていないが、海の方の学校で被災したり、また原発事故で移転してきた家族と一緒に移転してきた子供たちもいるようだ。



終了後、太田教頭の車でホテルに送って頂いた。途中街なかをガイドしながら走ってくれた。車から眺めた相馬市は落ち着いた小さな城下町で、城跡はないがお堀は今も水をたたえて町に潤いを与えていた。

ホテル到着後、瀧本到着し合流。街外れを皆で散策。海は遠いので、津波の跡の見えるところまで行くのは諦めた。夕食を取りながら、今日の反省会と明日の作戦会議。ビールも料理もいつもより格段に美味しい。

§6月26日

朝の相馬は霧の中だった。霧が幾分晴れた8時頃学校に到着。寺岡校長、太田教頭、青田教諭が迎えてくれた。直ちに図工室に向かい授業の準備。

1,2校時の4年生のテーマは「バランストンボ」で講師は国友担当。奇抜なデザインのトンボが現れたり目玉が上手く付かなかったり、それでも楽しみながら皆完成させ、棒の上に止まらせることができた。



3,4校時は通しで6年生80余名の合同授業。多目的ホールに全員を集め、12のテーブルに分かれて行う。テーマは「踊る水族館」で講師は持田担当。さすが6年生だけあって、魚の浮沈子のバランスをとるのも早く、スポイトを加工したタコまで全員が完成させた。しかし浮力測定の実験は、学校側に用意してもらったバネ秤の測定範囲が合わず、またメスシリンダーが細くて重りが入らなかったため、消化不良に終わった。何とかパワーポイントの説明で切り抜ける。アルキメデスが原理を発見したエピソードは、アンケートではかなり受けていたようだ。



給食は6年生のクラスで一緒にいただいた。4人が3つの組に分かれ、それぞれがクラスで時間を過ごした。

午後はクラブ活動まで1時間の休憩。校長室で、ブータン国王の資料など見せてもらって過ごす。ここで用事のため中村帰路につく。次の授業の準備に入る。

6校時は科学クラブでの授業。テーマは「ホバークラフト」で講師は瀧本担当。60分間なのでかなりゆとりを持ってできたが、中には風船がふくらませられなくて手間取ったりした子もいた。全員無事完成。机の上をホバークラフトをゆったりスライドさせていた。



§おわりに

桜丘小学校における2日間の子供たちとのふれあいは楽しく、また記憶に残る思い出となった。子供たちは挨拶もきちんとでき、礼儀正しくしつけられているように見えた。し

かし、なかなかこのような機会には恵まれていないようで、この理科教室をたいへん喜んでくれたし、先生方も大いに協力して盛り上げてくれたことが、この企画が成功裏に終わったことの原因ではなかろうか。

校長室でNPOの話などをし、挨拶をして太田教頭の車でバスの発着所まで送っていただいた。ちょうど雨が降り出していたので、大いに助かった。

帰路は、相馬・福島間が1時間半、福島・東京間が1時間半、東京駅から自宅までまた1時間半。津波の被災地である相馬は、遠いようで近い、しかし近いようで遠い、そんな距離感覚が自分の頭に残った。

このプロジェクトに大いに乗り気で張り切っていた中村泰三は、手術のため入院を余儀なくされ、参加できなかったことはさぞかし心残りだったであろう。

(文中敬称略)